化学工学会　粒子・流体プロセス部会　ミキシング技術分科会

国際交流助成金制度（渡航）

Ⅰ 目的

本制度は、大学においてミキシング技術に関する研究を行う若手研究者が、その研究成果を海外で開催される国際学術会議等で講演・発表するための渡航費の助成（以下、国際会議発表助成と略す）、および海外の大学、研究機関において研究活動を行う場合の渡航費、滞在費の助成（以下、在外研究助成と略す）を行うことで、国際的なミキシング技術研究者の育成および国際交流を通じミキシング技術研究の発展に寄与することを目的とする。

Ⅱ 助成金制度の概要

１．助成の対象資格者

国際会議発表助成

大学に所属する本分科会員、および本分科会員が推薦する大学院生（原則、本分科会員が指導教員を務める修士、博士課程の学生）で、国際学術会議で実際にミキシング技術に関する講演・発表を行う者とする。

在外研究助成

新進のミキシング技術に関する研究を行っている大学に所属する本分科会員（主として准教授、講師、助教、助手およびそれに準ずるもの）で、ミキシング技術に関連する在外研究を行う者とする。

２．助成の内容

国際会議発表助成では、開催地までの渡航費を対象とし、金額は30万円を限度とする。但し、修士課程の学生について5万円を限度とする。

在外研究助成では、原則として在外研究を実施する大学、研究機関の所在地までの渡航費、あるいは所在地における滞在費を対象とし、金額は30万円を限度とする。

３．募集方法・選考方法

(1)募集時期：国際会議の開催日および在外研究の開始時期に応じ適切な時期とする。

(2)募集方法：所定の申込書ならびに推薦状を作成し、必要書類とともにミキシング技術分科会事務局にメールで提出する。

(3)選考方法：別に定める選考委員会において提出された申込書、推薦状ならびに必要書類に基づき審査の上、対象者を決定する。

４．決定通知および助成金の交付

選考委員会で助成を受ける者、助成金額（申請額より減額されることがあります）が決定した後、事務局を通じて決定通知を本人に行う。

助成金は、原則として研究者あるいは指導教員が所属する機関への寄附金として交付する。また、助成金は研究者及び共同研究者の人件費への充当は認めません。所属する機関の一般事務管理費等の間接経費は原則として助成の対象外です。

５．助成の成果報告

本制度により助成金の支給を受けた者は、帰国後速やかに次に示す報告を行う義務を負う。

国際会議発表助成

(1)帰国後1ヶ月以内に、当該の国際会議発表の内容を中心とする報告書を事務局に提出する。

(2)渡航の旅程と滞在を証明するものの写し、ならびに経費報告書を事務局に提出する。

在外研究関助成

(1)帰国後3ヶ月以内に、在外研究の内容を中心とする報告書を事務局に提出する。また、適当な機会に分科会を対象に啓蒙的な報告を行う。

(2)渡航の旅程と滞在を証明するものの写し、ならびに経費報告書を事務局に提出する。

Ⅲ 申込書の作成方法

申込書書式を参考に下記内容を本人が記入捺印の上、事務局へ提出すること。

(1) 国際会議発表に関する助成・在外研究に関する助成の別

(2) 氏名、所属、生年月日、住所、学歴、職歴等の個人プロフィール

(3)-1 国際学術会議の名称、開催場所、主催団体、期間、発表内容の概要等

(3)-2 在外研究受入先の名称、所在地、受入先責任者、期間、研究の目的・内容等

(4) 渡航費用の概要

(5) 助成金振込先

(6) 報告予定時期

(7)-1 国際学術会議の会議資料（ホームページ、プログラム、プロシーディング等）、講演許可の通知等の書類を参考資料として提出すること。

(7)-2 在外研究受入先の概要、所在地を示す資料、招聘状あるいは受入許可の通知等の書類を参考資料として提出すること。

以上

**ミキシング技術分科会　国際交流（渡航）助成金　申込書**

化学工学会 粒子・流体プロセス部会 ミキシング技術分科会　御中

年　月　日

1．国際会議発表助成　・　在外研究助成

2．氏名（フリガナ）　　　印

3．生年月日

4．所属大学・学部学科・職位

5．連絡先

E-mail：

所属大学：住所・TEL・FAX

自　　宅：住所・TEL

6．大学・大学院歴（入学・卒業・修了）

7．職歴・研究歴（入社・退社・研究テーマ・発表歴）

[国際会議発表助成の場合]

8．国際学術会議

正式名称（日本名）：

開催地：

開催期間：　～

主催者：

発表題名（講演番号）：

出発予定日：

帰着予定日：

[在外研究助成の場合]

8．在外研究

受入先の名称（日本名）：

受入先所在地：

責任者（e-mail）：

研究期間：　～

出発予定日：

帰着予定日：

研究の目的・内容発表：

9．渡航費・滞在費の概要

申請額：　　　　　　円

使途の概要

10.報告書提出時期

11.添付資料

添付資料のリスト

(1）・・・・・・・・

(2)・・・・・・・・

　　　　　　：

以上

化学工学会　粒子・流体プロセス部会　ミキシング技術分科会

国際交流助成金制度（招聘）

Ⅰ 目的

本制度は、ミキシング技術に関する研究を行う海外の研究者を日本に招聘し、講演・発表、講義、討論を行う場合に、その渡航費の補助として助成金を支給することで、国際的なミキシング技術研究者の育成および国際交流を通じミキシング技術研究の発展に寄与することを目的とする。

Ⅱ 助成金制度の概要

１．助成の申請資格者

日本国内で開催されるミキシング技術に関連する講演・発表会、講義、討論に、海外の大学、研究機関に所属する研究者を招聘する本分科会員。

２．助成の内容

招聘する研究者の所在地から日本への渡航費を対象とし、金額は30万円を限度とする。

３．募集方法・選考方法

(1)募集時期：関連する講演・発表会等の開催時期に応じ適切な時期とする。

(2)募集方法：所定の申込書、必要書類とともにミキシング技術分科会事務局にメールで提出する。

(3)選考方法：別に定める選考委員会において提出された申込書、推薦状ならびに必要書類に基づき審査の上、対象者を決定する。

４．決定通知および助成金の交付

選考委員会で助成を受ける者、助成金額（申請額より減額されることがあります）が決定した後、事務局を通じて決定通知を申請者に行う。

助成金は、原則として申請者が所属する機関への寄附金として交付する。また、助成金は研究者及び共同研究者の人件費への充当は認めません。所属する機関の一般事務管理費等の間接経費は原則として助成の対象外です。

５．助成の成果報告

本制度により助成金の支給を受けた者は、招聘期間の終了後速やかに次に示す報告を行う義務を負う。

(1)招聘期間の終了後1ヶ月以内に、招聘中の講演・発表、講義、討論等の内容についての報告書を事務局に提出する。

(2)日本への渡航の旅程と滞在を証明するものの写し、ならびに経費報告書を事務局に提出する。

Ⅲ 申込書の作成方法

申込書書式を参考に下記内容を記入捺印の上、事務局へ提出すること。

(1) 申請者の氏名、所属、連絡先

(2) 招聘者の氏名、所属、年齢、連絡先、学歴、職歴等の個人プロフィール

(3) 日本国内における講演・発表会、講義、討論等の開催日時、内容の概略

(4) 渡航費用の概要

(5) 助成金振込先

(6) 報告予定時期

(7) 講演・発表会、講義、討論等の資料（ホームページ、プログラム、プロシーディング等）、招聘者に対する招聘状等の書類を参考資料として提出すること。

以上

**ミキシング技術分科会　国際交流（招聘）助成金　申込書**

化学工学会 粒子・流体プロセス部会 ミキシング技術分科会　御中

年　月　日

1．申請者氏名（フリガナ）　　　印

2．申請者所属・部署・職位

3．連絡先

E-mail：

所　属：住所・TEL・FAX

自　宅：住所・TEL

4．招聘者

氏名（年齢）

所属・部署・職位

e-mail：

住　所：

研究歴：

5．日本国内における活動内容

講演・発表会、講義、討論等の開催日時、開催場所：

内容の概略：

来日予定日：

帰国予定日：

6．渡航費の概要

申請額：　　　　　　円

使途の概要

7.報告書提出時期

8.添付資料

添付資料のリスト

(1）・・・・・・・・

(2)・・・・・・・・

　　　　　　：

以上